

2022年度 新聞記事等一覧 (1月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等	
1	1月1日	たまら・び悠	雑誌	世界に知られる建築家たちと多摩地域のキャンパス	東京農工大学農学部本館が、東京大学安田講堂を設計した内田氏のデザインによる建物だと紹介される。	
2	1月1日	時評 1月号	雑誌	「第19回 末松広行と語る、危機を乗り越えるトップの決断とは」 長い歴史を背景に、斬新な視点で打ち出す新たな国立大学の姿	東京農工大学教授 末松広行氏と千葉学長のインタビューが掲載され、国立大学の中でも長い歴史を有する東京農工は現在、千葉学長の下で次々と新機軸を打ち出していると紹介される。	千葉一裕 学長
3	1月1日	日本農業新聞	17面	専門家に聞く 天気のことわざ嘘？本当？	科学が発展した現代、古代から伝わる天気のことわざは本当なのか嘘なのか？「アリの高い所に巣を作ると洪水が起きる？」について東京農工大学農学研究院准教授 佐藤俊幸氏の解説が紹介される。	農学研究院 佐藤俊幸 准教授
4	1月2日	大学ジャーナル	WEB	コロナ前後でタヌキ・アナグマの採食行動に変化 東京農工大学・米イリノイ大学	東京農工大学大学院の大杉滋氏(博士特別研究生)は、アメリカのイリノイ大学との国際共同研究チームは、新型コロナウイルス感染症がタヌキとアナグマによる樹木から落下した果実を地面で食べる行動に影響を与えたことを明らかにしたと紹介される。	博士特別研究生 大杉滋 さん
5	1月2日	毎日新聞	WEB	「カエルの戦略はボクシングにも」金メダリストが研究の道へ飛躍	ボクシングのオリンピック金メダリストがこの春から、本格的にカエルの生態研究に取り組むと紹介される。	
6	1月3日	日本農業新聞	WEB	大規模法人代表座談会 厳しい風向き転換へ	座談会に出席した茨城大学農学部地域総合農学科・西川邦夫准教授の経歴として東京農工大学大学院連合農学研究科准教授も務めると紹介される。	連合農学研究科 西川邦夫 准教授
7	1月3日	日本農業新聞	WEB	「米作りの今と明日」大規模法人代表座談会 増える農地、地域のため 厳しい風向き転換へ	座談会に出席した茨城大学農学部地域総合農学科・西川邦夫准教授の経歴として東京農工大学大学院連合農学研究科准教授も務めると紹介される。	連合農学研究科 西川邦夫 准教授
8	1月4日	ナゾロジー	WEB	コロナ禍の人減少で「タヌキの食事スタイル」が大胆になっていた！	東京農工大学の研究により、コロナ禍がもたらしたタヌキとアナグマの採食行動の変化が明らかになりましたと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
9	1月4日	静岡警察本部ホームページ	WEB	「進路変更時の確実な安全確認を！」	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏 教授
10	1月5日	日刊工業新聞	29面	コロナ流行で人間活動低下 タヌキなどの食生活影響	東京農工大学の小池伸介教授らは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う人間活動の低下がタヌキやアナグマの食生活に影響を与えることを明らかにしたと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
11	1月5日	日経産業新聞	9面	農業生産の未来に不可欠な植物防疫	今年4月に改正される植物防疫法について、東京農工大学理事・副学長 大学院教授の有江力氏の農業生産における植物防疫の重要性や今後の展望に関するインタビューが掲載される。	農学研究院 有江力 教授
12	1月5日	朝日新聞	4面	カエル愛 ぴょんと転身 東京五輪ボクシング金・入江さん、大学院で研究へ	東京五輪ボクシング女子金メダリストで、カエル好きで知られる入江聖奈さん(22)は春から東京農工大大学院でカエル研究に挑むと紹介される。	
13	1月5日	日本テレビ	TV	スッキリ	山形県鶴岡市で2022年12月31日に発生した土砂災害についての解説が放映された。	農学研究院 白木克繁 准教授
14	1月5日	THE ANSWER	WEB	名探偵コナン作者、ボクシング入江聖奈に激レアな祝福 ファン羨望「コナン君強そう」	大学卒業後はカエルの研究のため、東京農工大大学院に進学する予定と紹介される。	
15	1月5日	朝日新聞	WEB	カエル愛、ぴょんと転身 東京五輪ボクシング金・入江さん、大学院で研究へ	東京五輪ボクシング女子金メダリストで、カエル好きで知られる入江聖奈さん(22)は春から東京農工大大学院でカエル研究に挑むと紹介される。	
16	1月6日	北海道新聞	WEB	＜ポストコロナへの羅針盤＞⑤ 収束への道 弱毒化、集団免疫へ兆し	「これほど変異の多い株は珍しい」。東京農工大感染症未来疫学研究センター教授の水谷哲也さん(58)＝北大院修了＝は現在主流のオミクロン株の特異性に舌を巻くと紹介される。	感染症未来疫学研究センター 水谷哲也 教授
17	1月6日	ニュースイッチ	WEB	新型コロナ流行とためきの食生活の関係、東京農工大が明らかにしたこと	東京農工大学の小池伸介教授らは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う人間活動の低下がタヌキやアナグマの食生活に影響を与えることを明らかにしたと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
18	1月6日	朝日新聞	WEB	海のプラごみ、日本周辺「ホットスポット」規制へ条約交渉本格化	北海道大学と東京農工大学の研究グループは昨年12月、魚類がMPを摂取することで、プラ製品に含まれる添加剤を筋肉や肝臓などに取り込み蓄積することを明らかにしたと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
19	1月7日	朝日新聞	3面	プラごみ 健康被害懸念 広がる汚染 人体からも検出	5ミリ以下はマイクロプラスチックと呼ばれ、魚介類などを介して人体に取り込まれることで、健康に悪影響を及ぼす可能性が指摘されると紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
20	1月7日	朝日新聞	WEB	プラごみ、健康被害懸念 広がる汚染、人体からも検出	北海道大学と東京農工大学の研究グループは昨年12月、魚類がMPを摂取することで、プラ製品に含まれる添加剤を筋肉や肝臓などに取り込み蓄積することを明らかにしたと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
21	1月7日	産経新聞	WEB	びっくりサイエンス マイクロプラスチック添加剤、魚に蓄積を初実証 北大など	北海道大と東京農工大の共同チームが最近、蓄積は実際に起こり、食物連鎖で加速することを世界で初めて実証と紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
22	1月8日	デイリー新潮	WEB	犬を飼うと、猫にはない「健康長寿」効果が！ 目を合わせて遊ぶと「幸せホルモン」が3.5倍に…「介護」「心血管疾患死」リスクも低減	麻布大学獣医学部の茂木一孝氏の経歴として東京農工大学農学部獣医学科卒業と記載される。	卒業生 茂木一孝 さん
23	1月9日	東京新聞	20面	＜府中新聞＞1日違い 同名市の因縁 東京一広島 昔わだかまり今は仲良し	東京競馬場や府中刑務所のほか、東京農工大と東京外国語大の二つの国立大キャンパスもあると紹介される。	
24	1月9日	東京新聞	WEB	＜府中新聞＞1日違い 同名市の因縁 東京一広島 昔わだかまり今は仲良し	東京競馬場や府中刑務所のほか、東京農工大と東京外国語大の二つの国立大キャンパスもあると紹介される。	
25	1月9日	ナゾロジー	WEB	子供も殺して食べる!? 厳しいクマの生活を首輪カメラで撮影!	東京農工大学大学院の小池伸介氏は、首輪に内蔵したカメラを用いて、野生のツキノワグマの生活を撮影することに成功したと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
26	1月11日	静岡新聞	2面	県警事故防止ムービー 自転車もルール順守を	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料の静止画が紙面掲載され、AR放映	工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏 教授
27	1月11日	南日本新聞	WEB	私は「プラスチックの人」元銀行員が廃プラの再利用・商品化を副業とするワケとは	岡田香織さんは、東京農工大学を卒業後、銀行勤めを経て2019年から1年間、青年海外協力隊としてマレーシアで活動したと紹介される。	卒業生 岡田香織 さん
28	1月11日	iZa	WEB	タヌキ、人間を恐れず「お昼ごはん」? 外出自粛で野生動物の採食行動に変化か	新型コロナウイルス禍が本格化した2020年には、野生のタヌキとアナグマの採食行動(餌を探し食べる行動)が変化したとする論文を東京農工大学と米イリノイ大学の共同研究チームが発表していると紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
29	1月11日	TRUBUS	WEB	Menjaga Kelestarian Purwaceng dengan Menanamnya di Kebun	Menurut doktor Plant Production Science alumnus Tokyo University of Agriculture and Technology, Jepang, itu senyawa aktif purwaceng hasil budidaya dapat terkontrol dan terstandar.	
30	1月12日	東京新聞	18面	都立石神井公園 水辺保全ボランティア発足へ 15日まで 中学生以上の30人募集	東京農工大グローバル教育院講師の片桐浩司さんが「水辺のゆりうかご(水草)と生物多様性」をテーマに講演すると紹介される。	グローバル教育院 片桐浩司 講師 亀山章 名誉教授
31	1月12日	東京新聞	WEB	都立石神井公園 水辺保全ボランティア発足へ 15日まで中学生以上の30人募集	東京農工大グローバル教育院講師の片桐浩司さんが「水辺のゆりうかご(水草)と生物多様性」をテーマに講演すると紹介される。	グローバル教育院 片桐浩司 講師 亀山章 名誉教授
32	1月12日	Jacom	WEB	連合農学研究科2年の根津郁実氏が森林遺伝育種学会の「学生発表優秀賞」を受賞 東京農工大学	東京農工大学は、同大学院連合農学研究科・環境資源共生科学専攻2年の根津郁実氏が森林遺伝育種学会第11回大会で「学生発表優秀賞」を受賞したと発表すると紹介される。	連合農学研究科2年 根津郁実 さん

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等	
33	1月12日	IoT	WEB	経産省など4省／ものづくり日本大賞を発表、国産初の手術支援ロボットなどが受賞	ニッセー、公立諏訪東京理科大学、東京農工大学、ハッピーサイエンス・ユニバーシティ、東京都立大学法人東京都立産業技術高等専門学校の「世界最高性能の『緩まないねじ』とその量産用転造金型の開発」が受賞したと紹介される。	
34	1月13日	科学新聞	6面	石炭灰中微量元素含有元素の挙動を解明 クモムやヒ素が偏って分布 石炭灰処理・利用活用 新たな指針に期待	東京農工大学農学研究院生物システム科学部門 橋本洋平准教授、大学院生物システム応用科学府 長尾有記大学院生の研究グループは、石炭火力発電所における発電ボイラーで石炭を燃焼させた際に発生する副産物である石炭灰中に含まれる微量元素の挙動を解析したと紹介される。	農学研究院 生物システム応用科学府 橋本洋平 准教授 長尾有記 さん
35	1月13日	科学新聞	7面	2023年 学協会大会一覧 1～6月	3月15～17日 化学工学会が東京農工大学小金井キャンパスにて開催予定と記載される。	
36	1月13日	科学新聞	7面	2023年 学協会大会一覧 1～6月	3月29～30日 日本作物学会が東京農工大学府中キャンパスにて開催予定と記載される。	
37	1月14日	ReseMom	WEB	【大学入学共通テスト2023】試験時間10会場が繰下げ…交通機関の遅延等	東京農工大学の繰り下げ時間、影響を受けた受験生の人数は(47分/4人)だったと掲載される。	
38	1月15日	産経新聞	17面	科学 science 食卓を襲う マイクロプラごみ	北海道大と東京農工大のチームは、マイクロプラスチックごみに含まれる添加剤という化学物質に着目し、その結果、食料である水産資源に危険が迫っていることを突き止めたと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
39	1月15日	毎日新聞	WEB	マイクロプラスチックの添加剤、魚に蓄積 水や餌通じ 北大など確認	微小なマイクロプラスチックに添加された化学物質が、水に溶け出したり餌を通じたりして魚に取り込まれることが実験で明らかになったと、北海道大と東京農工大の研究チームが専門誌に発表したと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
40	1月15日	大学ジャーナル	WEB	東京農工大学など、野生クマの食生活をクマ目線で撮影することに成功	東京農工大学、アメリカ・イリノイ大学、東京農業大学などの研究者からなる国際共同研究チームが、ビデオカメラを搭載した首輪(を野生のツキノワグマに装着することで、クマ目線での採食行動を記録することに世界で初めて成功したと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
41	1月16日	包装タイムス	雑誌	Z世代が問う未来への課題～パッケージ、食品ロス～ 新年号特別企画 新時代TOKYO PACKセミナー 採録 レポート	TOKYO PACK2022のZ世代代表パネリストとして、農工大プラごみ減らし隊の青山優菜さん、松永莉紗さん、木村将成さんが登壇し①リデュース・リユース、②リサイクル、③食品ロスについて議論した内容が写真とともに紹介される。	農工大プラごみ減らし隊 青山優菜 さん 松永莉紗 さん 木村将成 さん
42	1月16日	毎日新聞	6面	プラ添加剤 魚に蓄積 北大・東京農工大チーム実験	微小なマイクロプラスチックに添加された化学物質が、水に溶け出したり餌を通じたりして魚に取り込まれることが実験で明らかになったと、北海道大と東京農工大の研究チームが専門誌に発表したと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
43	1月16日	毎日新聞	WEB	プラ添加剤、魚に蓄積 北大・東京農工大チーム実験	微小なマイクロプラスチックに添加された化学物質が、水に溶け出したり餌を通じたりして魚に取り込まれることが実験で明らかになったと、北海道大と東京農工大の研究チームが専門誌に発表したと紹介される。	農学研究院 高田秀重 教授 水川薫子 助教
44	1月16日	株式会社官庁 通信社	WEB	ナイスステップな研究者10名を選定 科学技術への 顕著な貢献(NISTEP)	2022ナイスステップな研究者として、津川裕司・東京農工大学グローバルイノベーション研究院ニューアトラック准教授＝代謝物の多様性とその生物学的意義を明らかにする新たなデータサイエンス研究を創出が選出されたと紹介される。	グローバルイノベーション研究院 津川裕司 准教授
46	1月17日	朝日新聞	25面	いま就活生は コロナ禍 見つけた私の「ガクチカ」	東京農工大学工学部3年の飯野杏さんのコメントが紹介される。	工学部 生命工学科3年 飯野杏 さん
47	1月17日	朝日新聞	WEB	(いま就活生は:2)コロナ禍、見つけた私の「ガクチカ」	東京農工大学工学部3年の飯野杏さんのコメントが紹介される。	工学部 生命工学科3年 飯野杏 さん
48	1月17日	ゴムタイムス	WEB	新年インタビュー 会員交流の場を増やしていく年に	「23年は交流の場を増やしていき、会員相互の連携ができるような年にしていきたい」と語る日本ゴム協会の齋藤拓会長(東京農工大学教授)のインタビューが掲載される。	工学研究院 齋藤拓 教授
49	1月17日	Sportiva	WEB	東京五輪ボクシング金の入江聖奈「過去の栄光に すがらない」。大学院でのカエル研究のため「生理的に ダメな数学を克服しないと…」	入江はその後、東京農工大学大学院への進学を決め、ボクシングの世界に続き、今度は大好きなカエルの研究でアカデミックな世界を極めようとして紹介される。	
50	1月17日	Sportiva	WEB	入江聖奈「カエルはラプリーで尊い」。ボクシング継続 を望む声にもキッパリ「きつい練習するのは私なんです」	この春からは東京農工大学大学院の修士課程で、カエルの研究をスタートさせると紹介される。	
51	1月18日	日刊工業新聞	26-27	第19回 キャンパスベンチャーグランプリ東京 若き起業家の魂に火灯す	大賞には東京農工大学大学院の坂本良太さんの「生物酵素CYPを用いた脱石油の医薬品製造」が輝いたと紹介されるとともに、受賞のコメントが掲載される。	工学部 生命工学専攻 坂本良太 さん 飯島一翔 さん
54	1月19日	読売新聞	WEB	国立音大や東京農工大などから講師、教養深める6 講座…吉祥女子	吉祥女子中学・高等学校は昨年12月の3日間、2学期教養講座を催し、「獣医師の仕事と、女性が働くということ」をテーマに東京農工大学農学部共同獣医学科 オフライン悠木子先生が講師として登壇されたと紹介される。	農学研究院 動物生命科学部門 オフライン悠木子 准教授
55	1月20日	QLifePro	WEB	漬物やキムチの乳酸菌による肥満抑制の分子メカニ ズムを解明一京大ほか	この研究は、木村郁夫教授(東京農工大学大学院農学研究院 特任教授)、東京農工大学大学院農学研究院 宮本潤基・ニューアトラック准教授、Noster株式会社 清水秀憲研究グループ長(京都大学大学院生命科学研究所 受託研究員)らの研究グループによると紹介される。	農学研究院 応用生命化学部門、グローバル イノベーション研究院 木村郁夫 特任教授 宮本潤基 准教授
56	1月20日	QLifePro	WEB	過食・高脂肪食摂取による肥満から誘発の肝疾患、 発症制御因子を同定一京大ほか	この研究は、木村郁夫教授(東京農工大学大学院農学研究院 特任教授)、東京農工大学大学院農学府の野仲葉月大学院生(研究当時)らの研究グループによるものと紹介される。	農学研究院 応用生命化学部門、農学府 木村郁夫 特任教授 野仲葉月 さん
57	1月20日	読売新聞	WEB	5類移行、医療体制や患者負担は…「ウィズコロナ」 実現に課題	水谷哲也・東京農工大教授(ウイルス学)は「次の流行に備え、ウイルスの監視態勢は維持しておくことが重要だ」と話したと紹介される。	感染症未来疫学研究センター 水谷哲也 教授
58	1月20日	タウンニュース	WEB	桂氏が県議選出馬へ 医療充実など目指す	桂氏の経歴として東京農工大学大学院を修了と記載される。	卒業生 桂秀光 さん
59	1月21日	読売新聞	2面	医療確保 不可欠に 入院調整や患者負担 課題	水谷哲也・東京農工大教授(ウイルス学)は「次の流行に備え、ウイルスの監視態勢は維持しておくことが重要だ」と話したと紹介される。	感染症未来疫学研究センター 水谷哲也 教授
60	1月22日	東京新聞	12面	科学 シルマナブ クマの食事風景とらえた！ 首にビデオ 生態ありあり	東京農工大などのグループが、クマが何をどんなふう食べているのか、鮮やかな動画で記録することに成功し、米科学雑誌に発表したと紹介されるとともに、森林生物保全学研究室提供の写りが掲載される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
61	1月22日	東京新聞	WEB	クマの食事風景とらえた！ 首にビデオ、生態あり あり	東京農工大などのグループが、クマが何をどんなふう食べているのか、鮮やかな動画で記録することに成功し、米科学雑誌に発表したと紹介されるとともに、森林生物保全学研究室提供の写りが掲載される。	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
62	1月22日	タウンニュース	WEB	桂秀光氏が神奈川県議選出馬へ 茅ヶ崎市内への 公立医科大学・病院創設など訴え(茅ヶ崎市)	桂氏の経歴として東京農工大学大学院を修了と記載される。	卒業生 桂秀光 さん
63	1月22日	THE JAPAN NEWS	WEB	CORONAVIRUS Japan Urged to Remain Vigilant Against New Coronavirus Variants	Tetsuya Mizutani, a professor of virology at Tokyo University of Agriculture and Technology, said, "It's important to maintain vigilance in preparation for the next outbreak."	感染症未来疫学研究センター 水谷哲也 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等
64	1月23日	読売新聞	3面 東京農工大学科学博物館 友の会サークル作品展	2月4～11日、繊維に関する文化と技術を学ぶ10サークルの会員が出品し、伝統的な技法で制作した藍染、織物、組みひもなど200点以上が並ぶと紹介される。	科学博物館
65	1月23日	読売新聞	WEB 入江パンチ 子どもら沸く	入江さんは4月から東京農工大大学院でカエルの研究に打ち込むと紹介される。	
66	1月23日	ReseMom	WEB 【大学受験2023】河合塾、入試難易予想ランキング表1月版【国公立理系】	農学系として、東京農工(農-共同獣医)80%と掲載される。	
67	1月23日	ReseMom	WEB 【大学受験2023】国立大入学定員…一橋、京大等34校で増減	大学全体の入学定員増減として、東京農工大学(大学院修士17人増・博士3人増)と掲載される。	
68	1月23日	読売新聞	WEB 調査研究 動物福祉 日本に根付かせるには	「動物福祉」の重要性が、東京農工大学入試では「20年が動物福祉元年とも言える年になりうる」と指摘すると紹介される。	農学研究院 生物生産科学部門 新村毅 教授
69	1月23日	EurekAlert!	WEB Researchers uncover novel amyloidosis α-S1-casein forms amyloid by overexpression and N-terminal truncation in canine mammary tumor	A collaboration led by scientists at Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT), Japan, has discovered a novel amyloid protein from canine mammary tumors.	農学研究院 工学府生命工学専攻 工学研究院 農学府共同獣医学専攻 スマートコアファシリティー推進機構 農学研究院 村上智亮 准教授 郭俊佑 さん 保梨夏子 さん 塚越かおり 助教 池袋一典 教授 岩出進 さん 伊藤喜之 特任准教授 久田美貴 専門研究員 オブライエン悠木子 准教授
70	1月24日	MINKABU	WEB 【注目】安値圏からの出遅れ株がターゲット！-あすなろ投資顧問CEO大石やすし	昨年12月に新規上場した東京農工大学発の創業ベンチャーとして「ティムス」が紹介される。	
71	1月24日	保健指導リソースガイド	WEB 漬物やキムチなどの「発酵食品」が肥満やメタボを抑制 腸内菌の有益な働きを解明	この研究は、木村郁夫教授(東京農工大学大学院農学研究院 特任教授)、東京農工大学大学院農学研究院 宮本潤基テニュアトラック准教授、Noster株式会社 清水秀憲研究グループ長(京都大学大学院生命科学研究所 受託研究員)らの研究グループによると紹介される。	農学研究院 グローバルイノベーション研究院 木村郁夫 特任教授 宮本潤基 准教授
72	1月24日	糖尿病リソースガイド	WEB 漬物などの発酵食品の乳酸菌が肥満・糖尿病を抑制 プレバイオティクスとポストバイオティクスの作用機序を解明	この研究は、木村郁夫教授(東京農工大学大学院農学研究院 特任教授)、東京農工大学大学院農学研究院 宮本潤基テニュアトラック准教授、Noster株式会社 清水秀憲研究グループ長(京都大学大学院生命科学研究所 受託研究員)らの研究グループによると紹介される。	農学研究院 グローバルイノベーション研究院 木村郁夫 特任教授 宮本潤基 准教授
73	1月24日	糖尿病リソースガイド	WEB 肥満や糖尿病による非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を抑制 中鎖脂肪酸とその受容体に肝機能の保護作用 京都大学	この研究は、木村郁夫教授(東京農工大学大学院農学研究院 特任教授)、東京農工大学大学院農学府の野仲葉月大学院生(研究当時)らの研究グループによるものと紹介される。	農学研究院 農学府 木村郁夫 特任教授 野仲葉月 さん
74	1月24日	News-Medical.Net	WEB Novel amyloid protein discovered from canine mammary tumors	A collaboration led by scientists at Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT), Japan, has discovered a novel amyloid protein from canine mammary tumors.	農学研究院 工学府生命工学専攻 工学研究院 農学府共同獣医学専攻 スマートコアファシリティー推進機構 農学研究院 村上智亮 准教授 郭俊佑 さん 保梨夏子 さん 塚越かおり 助教 池袋一典 教授 岩出進 さん 伊藤喜之 特任准教授 久田美貴 専門研究員 オブライエン悠木子 准教授
75	1月24日	Phys.Org	WEB Veterinary researchers uncover novel amyloidosis	A collaboration led by scientists at Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT), Japan, has discovered a novel amyloid protein from canine mammary tumors.	農学研究院 工学府生命工学専攻 工学研究院 農学府共同獣医学専攻 スマートコアファシリティー推進機構 農学研究院 村上智亮 准教授 郭俊佑 さん 保梨夏子 さん 塚越かおり 助教 池袋一典 教授 岩出進 さん 伊藤喜之 特任准教授 久田美貴 専門研究員 オブライエン悠木子 准教授
76	1月24日	Phys.Org	WEB GHz burst mode femtosecond laser pulses can create unique two-dimensional periodic surface nanostructures	Scientists working on laser application at the RIKEN Center for Advanced Photonics (RAP) have demonstrated that GHz burst mode femtosecond laser pulses can create unique two-dimensional (2D) laser-induced periodic surface structures (LIPSS) on silicon substrates.	工学府 物理システム工学専攻 博士前期課程1年 工学研究院 川端祥太 さん 宮地悟代 准教授
77	1月24日	EurekAlert!	WEB GHz burst mode femtosecond laser pulses can create unique two-dimensional (2D) periodic surface nanostructures	Scientists working on laser application at the RIKEN Center for Advanced Photonics (RAP) have demonstrated that GHz burst mode femtosecond laser pulses can create unique two-dimensional (2D) laser-induced periodic surface structures (LIPSS) on silicon substrates.	工学府 物理システム工学専攻 博士前期課程1年 工学研究院 川端祥太 さん 宮地悟代 准教授
78	1月25日	エアゾール&受託製造産業新聞	4面 非標準で直接評価 昨日成分の皮膚浸透性 マツモト交商 試験受託スタートへ	マツモト交商はこのほど、東京農工大学大学院工学研究心の伊藤輝将准教授および三沢和彦教授との共同研究で確立した、化粧品に用いられる機能性成分の皮膚モデルへの浸透性を非標準で直接評価する試験を2023年2月より受託開始すると発表したと紹介される。	工学研究院 伊藤輝将 特任准教授 三沢和彦 教授
79	1月25日	毎日新聞	1面 第2ラウンドはカエル研究 五輪ボクシング「金」入江さん大学院へ やまめカエル愛 目指すは保全	今春、東京農工大大学院で研究生生活を始めると紹介される。	
80	1月25日	毎日新聞	WEB 五輪ボクシング「金」入江さん、大学院へ 第2ラウンドはカエル研究 やまめカエル愛、目指すは保全	今春、東京農工大大学院で研究生生活を始めると紹介される。	
81	1月25日	鉄鋼新聞	WEB 日本鉄鋼協会、鉄鋼カーボンニュートラル研究助成で第1回・24件採択。総額4000万円支給	採択された助成対象のテーマ・研究者として「フェライト系酸素担体を用いたプラズマケミカルルーピングによるCO2還元」東京農工大学・神谷憲児助教と掲載される。	工学研究院 神谷憲児 助教
82	1月25日	スポニチアネックス	WEB 入江聖奈さん「カエル愛」が芽生えた意外なきっかけ告白 上田ツッコミ「そんなことはないでしょ!」	入江さんはボクシングの道を究めるも、その後はカエルの研究に取り組むため東京農工大の大学院に入学したという、異色の経歴の持ち主だと紹介される。	
83	1月25日	EurekAlert!	WEB Study offers new insight on what ancient noses smelled Scientists compare humans' extinct genetic relatives to present-day people	A paper on the research, recently published in iScience, was written by collaborators from UAF, Duke University, Universite Paris-Saclay, Tokyo University of Agriculture and Technology, and the University of Manchester	卒業生 阿部雅司 さん
84	1月25日	BS-TBS	TV 「噂の!東京マガジン」	番組コーナー「噂の現場」にて自転車ルール解説用の資料映像として、本学所有のドラレコ映像2点が放映された。	工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏 教授
85	1月26日	日刊工業新聞	31面 東京農工大 認定ファンド第1号 自律的サイクル確立 農学の新興支援	東京農工大学は民間ベンチャーキャピタルのBPキャピタルと連携し、「認定ファンド」第1号を組成したと紹介されるとともに、千葉一裕学長のコメントが掲載される。	千葉一裕 学長
86	1月26日	日刊工業新聞	WEB 東京農工大、認定ファンド第1号組成 農学の新興支援で自律的サイクル確立へ	東京農工大学は民間ベンチャーキャピタルのBPキャピタルと連携し、「認定ファンド」第1号を組成したと紹介されるとともに、千葉一裕学長のコメントが掲載される。	千葉一裕 学長
87	1月26日	8760	WEB 冬に増加する「猫風邪」 その原因と治療法、飼い主が注意したいこと	回答者の獣医師 山本昌彦さんの経歴として東京農工大学獣医学科卒業と記載される。	卒業生 山本昌彦 さん
88	1月26日	河北新報	WEB 東北大・次世代型放射光施設「ナノテラス」 有識者会議「施設の価値、国は明示を」	東北大学新キャンパス(四谷市)に建設中の次世代放射光施設「ナノテラス」の利活用に関する有識者会議(座長・千葉一裕東京農工大学長)が25日、文部科学省であったと紹介される。	千葉一裕 学長
89	1月26日	毎日新聞	WEB あふれ「かえる」愛 金メダルボクサー、春から大学院へ 次に進むは研究の道 入江聖奈さん(22)	今春、東京農工大大学院で研究生生活を始めると紹介される。	

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等
90	1月27日	The Asahi Shimbun SDGs ACTION	WEB COP15の成果と、参加した大学生の声 ビジネスパ ソンのためのSDGs講座【21】	日本のユースとして参加した吉川愛梨沙さん(生物多様性わ かもネットワーク副代表、東京農工大学農学部地域生態シ ステム学科2年)に、若者視点でどう感じたかについてのコメン トが紹介される。	農学部 地域生態システム学科2年 吉川愛梨 さん
91	1月27日	Technology Networks	WEB Did Early Humans Smell the World Like Denisovans and Neanderthals?	A paper on the research, recently published in iScience, was written by collaborators from UAF, Duke University, Universite Paris-Saclay, Tokyo University of Agriculture and Technology, and the University of Manchester.	卒業生 阿部雅司 さん
92	1月27日	AID MAGAZIN	WEB Neue Studie zum Geruchssinn von Neandertalern und Denisovanern	Ein kürzlich in iScience veröffentlichter Artikel über die Forschung wurde von Mitarbeitern der UAF, der Duke University, der Universite Paris-Saclay, der Tokyo University of Agriculture and Technology und der University of Manchester verfasst.	卒業生 阿部雅司 さん
93	1月27日	New Scientist	WEB Bears may self-medicate against ticks by rubbing against trees	Shinsuke Koike at the Tokyo University of Agriculture and Technology nds the results convincing, noting that the bear species he studies — Asian black bears (Ursus thibetanus) — will rub their whole bodies on trees, possibly to treat against parasites as well.	グローバルイノベーション研究院 小池伸介 教授
94	1月28日	東京新聞	23面 令和5年度 国公立大学出願状況 中間日(27日)午前10時現在 文部科学省調べ	東京農工大学の出願状況が掲載される。	